

新編武藏國風土記稿

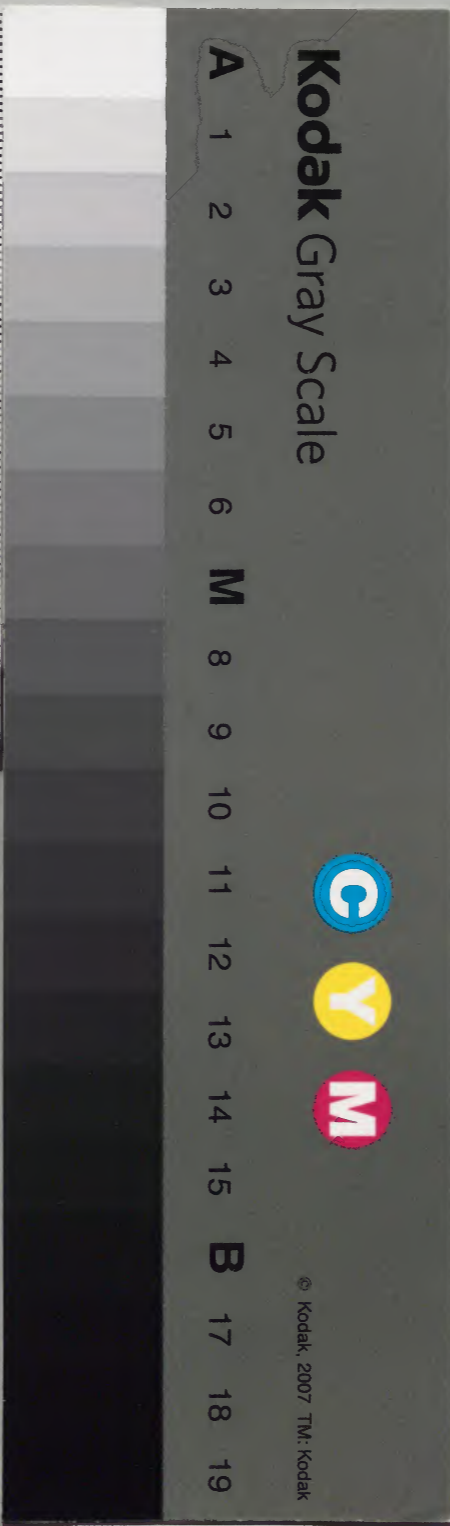
足立郡

卷之二百五十

和書門			
一六五〇	二二三	二五五	二五五
號	函	架	冊

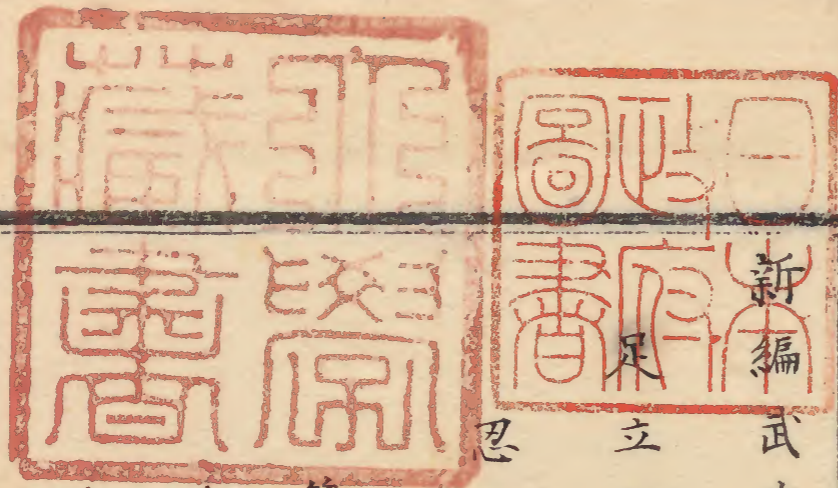
內閣文庫		
一六五〇	二五五	七三〇
號	冊	架
和書		

內閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255(149)
函號	173 210



新編 大正 九年 十月 十日 發行
東京 市 丸の内 區 本町 一 丁目 一 番 地
大正 九年 十月 十日 發行
東京 市 丸の内 區 本町 一 丁目 一 番 地

大正 九年 十月 十日 發行
東京 市 丸の内 區 本町 一 丁目 一 番 地



新編

武藏風土記卷之一百五十目錄

立郡之十六

忍領

箕田村

八幡田村

小谷村

市繩村

寺谷村

川面村

淺草文庫

中野村
登戸村
大間村

三ッ木村
中井村
前砂村
吹上村
榎戸村
大芦村
明用村
三町免村
糠田村
宮前村

新編武藏風土記卷之一百五十

豆立郡之十六

忍領

箕田村

箕田ハ。郷名ニモ唱ヘテ廣キ地名ナリ。其内當村ハ
其名ノ由テ起レル本郷ナルベシ。按ニ武藏守源任
ハ當所ニ住シテヨリ箕田ヲ名乗リシ由。諸家系圖
渡邊家譜ニ載セ。及ビ村内ハ幡社ノ祢豆カ藏スル
箕田系圖ニモイヘリ。コレ等ニテモ古キ地名ナル

大月より廿九日廿十日車以如常普徳
親知を以て別書目録入と切而
了親之誠意を以て終者若力開如一日
車乘又日三と云は是之慈國之法百好
之方各普徳を以て終者若力開如一日
是也如件

甲申 二月八日

八林及能去當書分

万隆中

カク古へヨリ此郷名諸記ニ著テ。廣ク數村ニワタ
リシ地ナレバ。今モ此郷名ヲ冠ル村。當村ヲ初トシ
テ十七村ニ及ベリ。江戸ヨリ十三里ノ行程ニテ。東
ハ市繩寺谷八幡田ノ三村ニ續キ。南ハ鴻巣宿及ヒ

宮前登戸糖田ノ三村ニ隣リ。西ハ小谷村中井村ニ
テ。北ハ三ッ木川面ノ二村ト。元荒川ヲ限リテ埼玉郡
野村ニ界ヘリ。東西三十二丁南北八十四五丁ニ過
ズ。民戸百九十六軒。元荒川ノ水ヲ引テ水田ヲ耕植
ス。御打入ノ後ハ丸中將忠吉郷薩摩守殿ノ御領
知ニシテ。正保ノ頃ハ阿部豊後守ガ領分ナリシコ
トモノニ見ユ。コレヨリ引續キ豊後守ガ家ニテ領
セシニ。元禄十三年上リテ御料所トナリ。同キ十五
年ノ頃今ノ地頭大岡主膳正同キ勇三郎梶川半丸
衛門松波平右衛門數原玄仲牛與鉄太郎等ノ家ニ

賜ハレリ。其餘荒川ノ邊ニ當村ノ飛地アリ。コ、ハ
御料所ナリ。檢地ハ文禄年中改メシヨリ。慶長寛永
ノ頃モ紀シアリシト云。其後シバク新開ノ地ヲ檢
セシコトアリ。村ノ中央ニ中山道ノ往還貫リ。道幅
四間。此街道古ハ村ノ西ノ方ヲ通セシヲ。後コ、
ニ移セシト。今モ猶村ノ西ニ中山道ノ古道ト呼ブ
小徑アリ。又中山道往還ノ内ニ一条ノ岐路アリ。是
ヲ行田道ト唱ヘテ上州館林或ハ日光へノ往還ナ
リ。

高札場 六ヶ所。

小名

追分ヲヒワケ

中山道往還ノ内ニテ。行田道ニ分ル、所ヲ云。

射貫イヌキ

コ、ニサレノ藪アリ。傳ヘ云。古一

電降レ時。源頼義此藪ノ竹ヲトリ鳴弦

セシカバ。電忽チ止ヌ。故ニ射貫ノ名アリト。ヨリテ今モ村内満願寺ヨリ電除

ノ守ヲ出スト云。或ハ頼義ノ臣若林某

入滅セシ地ナリトモイヘリ。トニカリ

定カナルコトニハアラジ。土人此藪ノ

篠ヲキレバキハクテ祟アリトテチヲ

觸ル、コトナシ。

下町シモマチ

中山道ノ往還ニテ。長吏廿四軒住

メリ。戸毎ニ菅草履ヲ造リテ行客ニ商

フ。是ヲ箕田草履ト呼テ。土地ノ産物ト

セリ。コノ穢多町ノ内ニ一里塚アリ。

二本木ニホンキ コ、モ穢多町ノ内ナリ。白山権

現ノ社アリ。文明年中造立ノ社ナリト

云傳フ。傍ニ古杉一株アリ。又サレク離

レテ古杉アリ。コレヲ駒繫ノ杉ト唱フ。

傳へ云古へ頼義以樹ニ乘馬ヲ繫キシ
コトアリシユ一以名アリト。コノ二本
ノ古杉アルヲ以テコノヲ二本木ト唱
フトナリ。

御神道

中道

觀音新田

道永

新田

元荒川 北ノ方郡及ヲ流ル。川幅十四五間。

荒川 飛地ノ方ニ係レリ。幅五十間。

氷川社 村ノ鎮守ナリ。社ノ後ニ古塚アリ。高サ六

七尺幅十二三間。往年土人以塚ヲ穿テシニ古鏡

太カナドノ朽腐セシモノヲ得タリ。コレ古へ貴
人ヲ葬埋セシ古墳ナルベシトイヘリ。村持。

末社 諏訪社 稻荷社

八幡社 當社ハ。渡邊源五綱ヲ祀リシユ一。綱ハ幡

ト唱フト。又綱ノ守本尊ヲ八幡ニ祀リシ故ナリ

トモ云。又称宜加藤出雲ガ藏スル文祿四年記セ

シ箕田系圖ニハ。永延二年七月十五日。源五綱當

社并ニ諏訪上下明神ヲ箕田郷ニ勧請スト載タ

リ。何レカ實ヲ得タルニヤ詳ナラズ。社邊ニ屋敷

跡ト云所アリ。是ヲ六孫王經基ノ陣所トモ。頼義

ノ陣所ナリトモ云。又箕田武藏守源仕ガ居跡ナ
リトモ稱セリ。今按ニ仕ハ大納言昇ノ子ニシテ。
從五位下ニ任ジ。箕田武藏守ト稱シ。其子箕田源
次充ハ武藏守經基ノ臣トナリ。充ノ子源五綱モ
當所ニ任シテ箕田ヲ名乗シガ。後頼光ニ任ヘテ
棋州渡邊ニ移リシヨリ。渡邊ヲ氏トセシ由。前ノ
系圖及武家評林等ニ載タレバ。當所ヲ仕ガ居跡
ト云コト其ユヘナシトセズ。又經基頼義等ノ陣
所ト云ハ。正シキ據ナケレド。皆武藏守ニ任ジタ
ル人ナレバ。古ニヨリテコノヲ陣所トナセシモ

知ルベカラス。サレド今專ラ玳社邊ノミヲ其跡
ナリトスルハ誤ナルベシ。廣ク近郷ニワタリタ
ル構ナリシナラシ。

別當長栄寺 辨敗山ト號ス。新義真言宗。村内龍
珠院ノ門徒ナリ。本尊不動ヲ安ス。

辨天社 天満宮

祢宜加藤出雲 家ニ文祿四年記セシ箕田系圖
一卷ヲ持傳フレド。已ハ箕田ノ子孫ト云ニハ
アラズ。コハ綱ハ幡ト號スルヨリ古書ニ據テ
作リタル系圖ナルベシ。記ス所大抵諸家大系

圖武家評林等ニ相似タリ。

天王社 村民持。下同。

日神社

淺間社 小高キ丘上ニアリ。上淺間下淺間トテ二

社建リ。龍泉寺持。

稻荷社五宇 一ハ村民持。一ハ平等寺。一ハ満願寺。

一ハ大寶院。一ハ東光院ノ持ナリ。

諏訪社 前ニ出セル箕田系圖ニ。永延二年綱カ勸

請セシ由ヲ載タレバ。古キ社ナリ。長栄寺持。

龍宮 又龍佛トモ唱フ。社ハナク。古碑ニ枚立リ。一

ハ文永七年トカスカニ見エ。其餘ハ漫滅シテ讀
ベカラズ。龍宮ト稱スユヘンモ詳ナラス。

龍珠院 新義真言宗。大和國小池坊ノ末ニテ。三十

六ヶ寺ノ本寺ナリ。自在山龍昌寺ト号ス。寺領五

石ノ 御朱印ハ天正十九年十一月賜フ所ナリ。

此 御朱印ノ文ニ。龍昌寺へ寄進ストアレバ。古

ハ寺号ヲモテ行ハレト見エ。開山ヲ光範ト云。

寂牟ヲ失ヘリ。本尊不動ヲ安ス。

寺寶

龍玉

一顆

此玉アルニ龍珠院ト號ストイヘド。其傳
未定カナラズ。形ハ寶珠ノ如クニテ。高サ三
寸程アリ。コレ真言宗ニテ用ユル金剛寶珠
ノ類ナルベシ。

劔

一振

無銘ナリ。三條小鍛冶宗近ノ作ト云傳フ。

鐘樓 寶永四年鑄造ノ鐘ヲカリ。

満願寺

新義真言宗。龍珠院ノ末ナリ。若林山明王

院ト号ス。寺領五石ノ御朱印ハ。龍珠院ト同年

ニ賜フ。本尊不動ヲ置リ。什寶ニ椀ノカケ楨ジメ

ルモノアリ。頼義ガ用ヒシ膳具ナリト云。全ク實
物ナルベケレド。真トシテ珍藏スレバシバラツ
記シラキヌ。

大御堂 本尊三尊ノ彌陀ヲ安ス。相傳フ往昔源

經基武藏ノ國司トシテ當所ニ住ヒシ頃。此像

ヲ帰依ノ餘リ。無量壽堂ヲ營ントテ其地ヲト

セントレテ。城外ニ出テ北ニ向ヒ。夫ヲ發テテ

其落ル地ヲ驗シニ堂宇ヲ造立スルモノ是ナ

リ。其後頼義奥列下向ノ時モ此像ニ祈誓シテ

感應アリレヨリ再ヒ造營スト云。一説ニ當所

ハ頼義ノ舊跡ニテ。奥州下向ノ砌。初テ此堂ヲ
造立セシト。又云サニハアラズ。頼義ノ臣若林
某ノ住シ地ナリト。其ニ口碑ニ傳フルノミニ
テ證トスルコトナシ。カレル旧地ノ堂ナレバ。
古ハ供僧モヨホド多カリシ由。今モ除地ノミ
存シテ廢寺トナレルモノハケ坊及ヒ現存ノ
モノニ寺アリ。尤ノ如シ。
龍泉寺 今村内ニアリ。別ニ出ス。
大門坊 今隣村八幡田村ニアリ。
持寶坊 東林坊 清月坊

專住坊

觀音寺

角藏坊

圓能坊

金藏坊

以上ノ八坊ノ除地ハ今當寺ニテ預レリ。

天満宮

鐘樓

鐘ハ享保十年鑄シモノナリ。

寶持寺

禪宗曹洞派。比企郡市川村永福寺ノ末。曹

傳山美源院ト号ス。寺領五石ノ御朱印ハ慶安

年中賜ハレリ。開山登芸玄臣享祿年中當寺ヲ草

創シテ。天文元年八月示寂セリ。開基ノ位牌ニ基

アリ。寶持院金峯道剛大禪門。曹寶院玉室大禪尼

トアリ。寺号モコノ法号ニトリテ名付シコト知
ラ。寶持院ハ俗稱ヲ小宮山彈正ト稱ス。曹寶院
ハ其妻女ナルベシ。今按ルニ成田家ハ限帳ニ小
宮山彈正ハ忠孝永樂二百貫文ヲ所務セシ由ヲ
載ス。即チ其人ナルベシ。又郡中赤山領戸塚村ニ
込山彈正ガ住シ城跡ト云モノアリ。是モ同人ナ
ルベシ。又渡邊源五綱ガ位牌アリ。美源院殿大總
英綱大禪門萬壽元甲子年三月朔日ト記ス。綱ハ
當寺最初ノ開基ナレバ。コノニ置ルナトイヘド。
固ヨリ據トスベキコトナケレバ。オボツカナシ。

什寶

太刀

一振

下野ノ住包秀ノ作。源五綱ガ所持ノモノニ
テ。遠裔渡邊重兵衛高方寄進セシモノトイ
ヘド。高ト云モノ、車蹟詳ナラザレバ。考フ
ルニ由ナシ。

鐘樓 延寶五年鑄造ノ鐘ヲカシ。

白山社 辨天社 秋葉社

稻荷社 愛宕社 第六天社

真相寺 新義真言宗。龍珠院ノ門徒ナリ。自照山ト

号ス。本尊不動。

龍泉寺 同宗。満願寺ノ末ナリ。古ハ同寺ノ境内ニ

アル大御堂ノ供僧ナリト云。

平等寺 吹張山ト号ス。龍珠院ノ門徒ナリ。今寺地

バカリニテ堂宇モナク。住僧ハ後ニ出ス。観音堂

ノ傍ニ小庵ヲ作りテ住ス。

正福寺 曹洞宗。寶持寺ノ末ナリ。當寺及吉祥庵モ

寺地ノミニテ廢寺トナレリ。

吉祥庵

千手院 當山派。修驗横見郡ニ木村龍海寺ノ配下

ナリ。

大寶院 同派ニテ。小松原滝本院ノ觸下ナリ。

東光院 是モ滝本院ノ觸下ナリ。

観音堂 本尊ハ源頼義守護佛ナリト云。秘シテ

見ルコトヲ許サズ。土人ノ話ニ。此堂ニ六十年前

マテハ保安元年ノ銘文アル。鰐口ヲ掛タリシガ。

後回祿ニカ、ソレ時失ヒタリト云。平等寺ノ持。

薬師堂 満願寺持。

八幡田村

八幡田村ハ。元箕田村ノ内ナリシヲ。後分村スト云。其分レシ年歴ハ詳ナラザレド。正保ノ國圖ニハ未タ此村名ヲ載ガレバ。ソレヨリ後ナリシコト知ラル。カレバ今モ箕田郷ヲ唱ヘリ。按ニ八幡田ト名付エハ當所ニ八幡社アルニヨル如ク聞エタレト。彼八幡ハサセル古社トモ見エザレバ。恐リハ古ヘ何レカノ神田ニシテ村名モ起リ。又其遙拜ノ為ニ造リシ社ニアラスヤ。近村河面村ハ。鎌倉鶴岡八幡ノ

社領ナル由。上杉民部太輔が同社ノ寄附狀ニ見エ
タレハ。若クハ當所モ鶴岡ノ社領ナリシモ知レカ
ラズ。江戸ヨリ十二里半。戸數三十二。東西十五丁餘
南北六丁許。東ハ市繩村及鴻巣宿ノ内宮地ニテ。南
ハ同宿及宮前村。西ハ箕田村。北ハ寺谷村ナリ。當村
正保ノ頃ヨリ元禄年中マデハ阿部豊後守領セシ
ガ。一旦御料所トナリ。元禄十年戸田備後守中山芳
次郎が先祖ニ賜ハリ。今モ替ラズ。檢地ノ年代ハ知
ラズ。政餘荒井山ト云所ニ新田アリ。近キ頃箕田村
ノ民四郎九衛門ト云モノ開墾ス。民戸四軒。中山ガ

知行ニ属ス。村内一中山道サシク係レリ。用水ハ三
ツ木堰ヨリ引込ケリ。
高札場ニケ所 東ノ方ト西ノ方ニアリ。

小名

立松通クテトホ 觀音裏ミツツラ 入會通イリエトホ

横丁通ヨコチヨドホ 平太町ヘイダチヨ 山向ヤマムカ

荒井山アラハヤマ 成田下総守ガ林ノ跡ナリト云。

林場 箕田村ト入會ノ地ナリ。荒川ノ堤外ニアリ。
沼 是モ箕田村入會ナリ。
八幡社 神体ハ木像ニテ。長三寸許。八幡寺持。

未社 稻荷社 天王社

此外石川丸近宮ト号シテ石ノ祠ヲ夕ヲ。是ハ
近キ頃鴻巣宿ノ人。夫役免許ノコトヲ願ヒシ
トキ。奉行石川丸近將監コレヲ紀問シテ其役
ヲ免許セシ故ニ。村民等其惠ヲ感シテ祀ルト
云。朴實ノ風ヲ見ルニ足ル。

神明社 村持。下同。

辨天社

八幡寺 新義真言宗。箕田村龍珠院門徒。無量山ト
号ス。開山僧海惠寛永七年閏八月十八日寂ス。本

尊不動ヲ安ス。

彌陀堂

喜木庵 荒井山ニアリ。昔成田下總守方家士吉川
喜内ト云モノ。成田没落ノ後。此庵ヲ造テ幽棲ス
ト云石碑アリ。吉川和泉吉長。吉川丸太夫政義。吉
川権兵衛長貞。吉川喜内忠長等が交名ヲ取ル。忠
吉ハ則此庵ヲ造リシモノナリ。本尊彌陀ノ像ヲ
安ス。
一里塚 箕田村往還ニアリ。

小谷村

小谷村ハ。箕田郷箕田庄ニ属ス。古ハ箕田村ヨリ分
レシ村トリト云傳フレド詳ナラズ。江戸ハノ里數
前村ニ同ジ。東西九十四丁南北二十六丁許。東ハ箕
田村。南ハ糖田村及ヒ横見郡今泉村ニテ荒川ヲ以
トス。西モ又荒川ヲ隔テ同郡一ツ木地頭方ノ二村ニ
至リ。北ハ當郡大芦三町免明用前砂中井ノ五村ニ
接セリ。家數二百七。寛永年中ハ太田次兵衛山本新
五左衛門下山五郎助酒依喜右衛門等知行ス。太田

次兵衛ニ賜ハリニハ寛永十一年ナリ。其餘ノ三人
ハ同キ十九年ニ賜ハリシト云。今モ此等ノ子孫太
田松庵山本庫之助下山弥八郎酒依清十郎ノ知ル
所ナリ。檢地ハ寛永六年大河内金兵衛紀セリ。
高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

新宿 シシテ

栗原 クリハラ

八町免 ハチチヨウノ

石鋪 イシジキ

二俣 フタマタ

五段田 イツダノ

荒川 西ノ方ヲ流ル。砂利川ニテ川幅五十五間。
山王社 村ノ鎮守ナリ。

末社 稻荷社 天王社

雷電社

稻荷社

金栗寺 新義真言宗。横見郡御所村息障院末。善光

山知周院ト號ス。慶安年中寺領十石ノ 御朱印

ヲ賜フ。開山詳ナラズ。中興開山深清寛文十年三

月七日化ス。本尊彌陀行基ノ作ト云。

薬師堂 コレモ行基ノ作ナリ。

法性寺 禅宗曹洞派。箕田村寶持寺末。慈眼山ト号

ス。開山貫達慶安元年十二月廿八日化ス。本尊釈

迦ノ置。

天照太神天満宮白山合社

閻魔寺 前ト同宗ニテ。同寺ノ門徒ナリ。三十婆娑

山ト号ス。地藏ヲ本尊トセリ。元禄年中開基セシ

トイヘ下。開山等詳ナラズ。

閻魔堂

墨蹟 法性寺境内ヨリ。荒川堤邊土人城山ト呼ル

所ナリ。ナレド今ハ遺形モアラハ。境界定カ

ナラズ。古ヘ小宮山内膳トイヘル人ノ住セシ由

傳フレド。年代等詳ナラズ。按ニ箕田村寶持寺ノ

開基ヲ小宮山彈正ト云。又戸塚村ニ小宮山彈正

ガ居城蹟ト云アリ。天正年間ニ改メシ成田家ノ

分限帳ニ。小宮山彈正女忠孝ト載タリ。サレバ内

膳ハ此彈正トカ一族ニシテ。成田家ニ仕ヘシ

モノニヤ。武田家ニ聞エシ小宮山内膳友暗トハ

別人ナルベシ。

屋鋪蹟 墨蹟ノ續キニアリ。土人元屋鋪ト稱ス。何

人ノ住シト云ユトハ傳ヘズ。今ハ陸田トナレリ。

ニ、ニ庚申塚アリ。

市繩村 イ十八

市繩村ハ江戸ヨリ十二里餘ノ行程ナリ。郷名且水
利前村ニ同シ。相傳フ慶長十四年。近郷ト同ク大河
内金兵衛檢地セシ時。此村ヲ手ハシメトセルヲモ
テ一繩村ト名付シヲ。後ニ一ヲ市ノ字ニ書改シト
スヘリ。東西八丁許南北三丁餘ノ小村ナリ。東元荒
川ニ至リ。對岸ハ埼玉郡安養寺村ト鴻巣宿ノ内宮
地ト云ヌトノ坂ナリ。夫ヨリ北ノ坂ヘ荒川ヲグリ。
對岸ハ鴻巣宿ナリ。西ハ箕田寺谷ノ二村ニテ。南ハ

則八幡田村ナリ。戸數三十三。水溢ヲ患フル地ナリ。
土人ノ傳ヘニ。御打入ノ後忍城附ノ地ナリシニ。
後一旦御料所トナリ。元禄十一年嶋田甚五左衛門
ニ賜リシヨリ。今子孫愛之助ニ至テ知行ス。
高札場 西ノ方ニアリ。

小名

上^{カミ}

中^{ナカ}

下^{シモ}

村内スベテ三區トス。

西ヲ上下シテ東ノ方ヲ下トス。此餘庄
兵衛耕地。五段田。菅蒲田。六段田。蓮沼。ノ
口ス橋等ノ名アリ。

元荒川 村ノ西ノ方ヨリ来リテ。北東ノ段ヲ延互
ス。

以 東ノ方ニアリ。鴻巣用水ノ以ナリ。以下ヲ惡水
落シノ小渠通ス。呼テ地獄以ト云。其所ニ逆水フ
セギノ門樋アリ。此外以ノ傍ニ惡水落ノ樋アリ。
是ヲ新地獄以ト云。

八幡天満宮合社 関上寺持。

金毘羅社 村持

関上寺 八幡山圓福院ト號ス。新義真言宗。箕田村
龍珠院ノ門徒。開山僧宥憲。元禄十一年五月廿一

日殿ス。弥陀ヲ本尊トス。
觀音堂 馬頭觀音ヲ安ス。
愛宕稻荷合社

寺谷村

寺谷村ハ。江戸へノ里數十三里。家數三十七。東ハ市
繩村ニ隣リ。南西ハ箕田村ニ取ヒ。北ハ埼玉郡野村。
屈葉村ノ二村ニテ。元荒川ヲ取トス。郷名水損等ノ
丁前村ニ同ジ。昔成田下總守忍ニ在城ノ頃。城付ノ
村ナリシガ。御入國ノ後御料取トナリ。正保ノ頃
阿部豊後守ニ賜ハリ。元禄年中御料取ニ復シ。同十
一年三月鳴田甚五左衛門永田文十郎ニ賜ハリ。子
孫相續テ今鳴田愛之助永田松次郎知行ス。檢地ハ

慶長七年。時ノ御代官大河内金兵衛糺セリ。

高札場ニケ所 共ニ村ノ中程ニアリ

小名

芝付

附道下

久左衛門橋

元荒川 村ノ北ノ方郡界ヲ流ル。川幅十五間ヨリ

二十間ニ至ル。

沼 二段許ノ沼ナリ。

溢井橋 元荒川ニ架シ。鴻巣宿へ渡ル。長八間。

稻荷社 東圓寺持。

秋葉社

八幡社 臥座八幡ト號ス。相傳フ慶長ノ頃。

東照宮鴻巣箕田邊へ御遊歴ノ時。當所ニ過ラ

セ賜ヒ。農民孫平次ト云モノ、家へ渡御アリ

シニ。御座ヲ設ントテ臥座ヲシキ。其上ニ御憩息

アリシニヨリ。頓テ畏リテ火中ニ。其灰ヲ埋テ社

ヲ建八幡ニ祀ルト云。村内東圓寺持。

辨天社 東圓寺持。

東圓寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。惠日山辨財

院ト號ス。元禄ノ頃村民孫三郎ト云モノ開基ス。

彼死シテ含華春翁ト謚ス。開山僧淳惠。享保十九

年七月十六日寂ス。本尊六災日ナリ。

観音堂 天神社

舊家者直右衛門 吉田氏ナリ。先祖ハ小澤木ニ之
進ナリ。成田下總守ガ家人ナリシガ。天正十八年
ノ戦争ニ。武門ヲスナテ幡羅郡四方寺村ニ住ス。後
大河内金兵衛ニ所縁アル故ニ。金兵衛木工之進
ガ次男孫三郎ニ命シテ。當所ヲ開墾セシトナリ。
又リカナル故ニヤ。此頃ヨリ氏ヲ吉田ト改メシ
ト云。今直右衛門ガ菩提所ニ金兵衛ガ碑ヲタツ
ルハ。當所ヲ開墾ノ縣令ナレハニ

川面村

川面村ハ。元荒川ニ添ヘル地ナレバ。此地名アルナ
リ。郷名及ビ江戸ヨリノ行程前村ニ同シ。家數三
十五。東西モ南北モ大抵六丁餘。東ハ箕田村ノ新田
ニテ。南ハ箕田ニテ。木ノ二村ニ接シ。西ヨリ北ハ八崎
玉郡袋村ニテ。元荒川ヲ取トス。此地ハ古ク開ケシ
ニヤ。相模國鶴岡ハ幡社領寄附状ノ内。上杉民部太
輔ガ寄進状ニモ其名見エタリ。其文ニ。

寄進

鶴岡八幡宮

武藏國箕田郷地頭職内河連村除社領并人給地車。

右為天下安全武運長久所被寄進也。若守先例可被致沙汰之状依仰執達如件。

應正元年八月廿一日

上杉民部太輔法名道昌
沙彌判

河連卜書レハ。全ク假借レテシルセシニテ。別義アルニハアラズ。又應正ハ恐ラクハ康正ノ訛リナルベシ。御入國ノ後ハ阿部豊後守領セシガ。元禄ノ項上ケ地トナリ。幾程モナク加藤庄之助永田松次

郎が先祖へ賜ハレリ。檢地ノ年代ハ傳ハラズ。

高札場ニケ所。一ハ北ノ方。一ハ箕ノ方ニアリ。

小名

代官屋敷

トニビ田

ヨシ堀

マキヤ
陣屋敷

一本木

下ヤ

元荒川 川幅八九間。廣キ所ニテ十五六間ニ至ル。

川面橋 元荒川ニ架ス。土橋ナリ。長八間。

八幡社

若宮八幡社 以上清瀧寺付。

清瀧寺 鳥雲山ト號ス。新義真言宗。箕田村龍珠院
末。本尊阿彌陀ヲ安ス。

藥師堂 稻荷社

褒善者彌兵衛 永田松次郎知行公ノ農夫ナリ。親ニ
車一テ奉アリレコト已ニ 公ヘキコ工。寛政元
年褒賞シテ白銀ヲ賜フ。時ニ彌兵衛歳四十七十
リト云。

三木村

三木村モ郷名及ビ江戸ヘノ里數前村ニ同ジ。家數
三十六。東ハ川面村。南ハ中井村。西ハ前砂村。北ハ埜
玉郡袋村ニテ。元荒川ヲ段トス。東西五丁南北ハ四
丁ニ足ラズ。御入國ノ後岡三四郎ニ賜ハリテヨ
リ。今子孫岡善太郎知行セリ。

小名

上手

中口

本村

元荒川 西北ノ境ヲ流ル。

葦原橋 元荒川ニ架ス。長六間ノ土橋ナリ。

三木堰 元荒川ノ水ヲ引沃リ堰ナリ。近郷以用水

ヲ引モノ多シ。

山王社 婦人腰下ノ病アルモノ。祈リテ靈驗アリ

トテ申ノ日ゴトニ近郷ヨリ詣ルモノ多シト云。

輪光院持。

氷川社 村ノ産神ナリ。村持。

天神社 村持。

輪光院 光明山勝樂寺ト号ス。新義真言宗。箕田村

龍珠院門徒。中興僧快尊天和四年六月十五日寂

ス。本尊ハ弥陀ナリ。

地藏堂

中井村 ナカヰ

中井村ハ。戸數二十三。東ハ箕田村ニ隣リ。南ハ小谷
村ニテ。西ハ前砂村ニ界ヒ。北ハ三ッ木川面ノ二村ナ
リ。東西四丁南北四丁許。古ハ忍ノ成田ガ領地ナリ
シガ。御打入ノ後岡三四郎ニ賜ハリ。今ニ至テ子
孫善太郎知行ス。檢地ノ年代詳ナラズ。郷名江戸ハ
ノ里數等前村ニ同シ。
高札場 中程ニアリ。

小名

郷分

飛田

吉堀

四段田

木村田

細子田

ウバ塚

グハンサイ

カナクソ

稻荷社 村ノ鎮守ナリ。西光院持。末社三アリ。何レ

モ若宮ト称ス。

西光院 稻荷山ト号ス。新義真言宗。箕田村龍珠院

末。本尊ハ不動ナリ。

前砂村

前砂村ハ江戸ヨリ行程十三里半。郷名前村ニ同ジ。戸數五十八。東ハ三ッ木中井ノニ村ニ坂ヒ。南ハ小谷。三町免。明用ノ三村ニシテ。西ハ吹上村及ヒ元荒川ヲ隔テ埼玉郡下忍村ニ隣リ。北モ同郡袋村ナリ。御打入ノ後御代官所ナリシガ。寛文四年山岡十兵衛ニ賜ハリ。後上リテ元禄十年阿部豊後守ガ領地トナリシヨリ。今ノ鐵丸ニ至ル。檢地ハ慶長十二年伊奈備前守紀セリ。其後延寶五年山岡十兵衛再ビ

紀ヒシヨリ。今其水帳ヲ用エト云。
高札場 中程ニアリ。

小名

通殿

新田通り

宮殿

オム夕シ

山ノ神

藪

元荒川 北ノ方ニアリ。吹上村ヨリ来リ郡取ヲ流

レ。三ッ木村一入。川幅十五間。

氷川社 村ノ鎮守ナリ。寶藏寺持。

末社 神明熊野天神合社。

福荷門客人諏訪合社

寶藏寺 氷川山ト號ス。新義真言宗。箕田村龍珠院

末。本尊大日ヲ安ス。

吹上村

吹上村ハ。江戸ヨリ行程十四里。郷名及ビ檢地等前
村ニ同シ。東西十六丁南北十丁許。東ハ前砂明用ノ
二村ニテ。南ハ大芦村。西ハ榎戸村。北ハ元荒川ヲ隔
テ埼玉郡鎌塚下忍ノ二村ナリ。村内ニ中山道ノ往
還カ、リテ。鴻巣熊谷ニ宿ノ間ノ宿ナリ。又多磨郡
八王子邊ヨリ下野國日光山ヘノ往還モカ、リテ
リ。民家百餘軒多シハ街道ノ左右ニ連任ス。以村古
ハ成田下総守カ領分ナリ。御打入ノ後ハ御料

ニシテ。忍城附ノ村ナリシカ。慶安ノ頃ハ日下部
 之丞。小笠原三郎右衛門。佐伯傳右衛門。市岡九太夫。
 岡三四郎等知行ヒシ由モノニ見エタリ。又元禄年
 中村民ノ記ヒシモノニ。下組ノ内地頭林大學頭ト
 アリ。此下組ト云ハ今小名ニ下宿ト呼ル所ニテ。此
 頃ハ大學頭カ知行モアリシナリ。其後元禄十一
 年。前村ト同ノ村内一圓ニ阿部豊後守ニ賜リ。今子
 孫鐵九カ領分ナリ。
 高札場 中程ニアリ。

小名

上カミ

中ナカ

下宿シモシヨク

菅蒲沼シヤウバヌマ

細洲ホソアキ

遠所エシヨ

王子塚フナジツカ

新田裏シンデンウラ

元荒川 村ノ西北ノ方ヲ流ル。川幅十三間許。此川

ニサガ橋ト稱スル橋アリ。此橋イカナルユヘニ
 ヤ。川ノ中央ニ塚ノ如クナル土臺ヲ築キテ。ワレ
 へ此方ヨリ長三間ノ石橋ヲ架シ。臺ヨリ對岸へ
 ハ土橋ヲ架セリ。コレヲモテ當郡ト埼玉郡ノ境
 トストイヘリ。サガ橋ハサカヒ橋ト云ノ轉語ナ
 ルベシ。

山王社 村内上分ノ鎮守トス。東曜寺持。

末社 稻荷社 天王社 天満宮

庚申堂

氷川社 小名遠所ノ鎮守ナリ。持寶院持。

稻荷社 下宿ノ鎮守ナリ。東曜寺持。

稻荷社

勝龍寺 淨土宗。鴻巣宿勝願寺末。次上山寶光院ト

号ス。古ハ水精山ト書セシ由。其改メシ年代ハ知

ラス。慶長年中寺領八石ノ御朱印ヲ賜フ。開山

ハ不殘和尚ト云。本寺中興ノ僧ニテ。元和二年九

月三日示寂ス。本尊彌陀ヲ安セリ。

鐘樓 鐘ハ近キ頃鑄造セシモノナリ。

仁王門 樓門ニテ。上ニ千手觀音ヲ安ス。

東曜寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。瑠璃山寶書

院ト号ス。本尊阿彌陀ヲ置。開山宥覺。寂年詳ナラ

ズ。

藥師堂 藥師ハ弘法大師ノ作ナリ。

毘沙門堂

持寶院 光明山無量寺ト号ス。前ト同寺ノ門徒ナ

リ。開山圓清。寛永二十年寂ス。本尊彌陀ヲ安ス。

褒善者牧右衛門 村ノ農民ナリ。父ハ早ク死シ。母
ニツカヘテ篤カリシガ。母生レツキカタリナ、
ルガ上ニ。久ク病ニカ、リテ。イヨノスジナキコ
トナド云ケレト。イサ、カモ其心ニ違フコトナ
ク首病シ。或ハ神佛ニ祈禱シ。或ハ得ガタキ藥ヲ
モ求テ。病ノ平愈セシコトヲ願ヘリ。カクノ如ク
スルコト既ニ八年ニ及ベドモ。少モ懈怠スルコ
トナカリケリ。又牧右衛門ガ妻ヤシモ夫ト共ニ
心ヲ尽シテ。姑ニツカヘシカバ。延享二年八月。領
主阿部豊後守其孝行ヲ賞レテ。夫婦ノモノニ米

若干ヲ與ヘシト云。

榎戸村

榎戸村ハ、東西五丁餘南北六丁餘。東ハ吹上村。南ハ
大芦村。西ハ大里郡久下村ニテ。北ハ元荒川ニ限り。
對岸埼玉郡鎌塚。大井ノ二村ナリ。戸數三十五。村内
ニ中山道貫ケリ。道幅二間餘。江戸一ノ行程前村ニ
同シ。正保ノ頃ハ小笠原三郎右衛門知行セシカ。爰
モ元禄年中阿部豊後守ニ賜ハリ。元文元年檢地シ。
今其子孫鐵九領セリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

上カミ

横丁ヨコチヨウ

中ナカ

中田ナカダ

下シモ

下田シモダ

元荒川 村ノ北ノ方郡取ヲ流ル。川幅五六間。珙川

ニ堰ヲ設テ。近邊ハケ村ノ用水ヲ引ケリ。榎戸堰

ト呼ブ。

寶性寺 新義真言宗。箕田村龍珠院門徒。稻荷山普

門院ト号ス。本尊十一面觀音ヲ安ス。

稻荷社 村内ノ鎮守トス。

辨財天社 天満宮

舊家者半十郎 村民ニテ。眼療ヲ業トセリ。氏ヲ横

田ト云。古ハ陸奥國會津郡ノ民ナリシカ。寛永十

一年當所ニ来リテ上着セリ。其家系ヲ閱ルニ山

内五郎九衛門尉俊綱ガ後胤ニテ。俊綱ヨリ六代

横田兵部大輔俊治。ハジメテ横田ヲ氏トス。其子

刑部大輔頼俊ハ。又山内ヲ稱セリ。此人ヨリ六代

山内越中守俊泰ノ次男ヲ。横田丸馬助光弘ト云。

コレ半十郎ガ祖先ナリ。ソレヨリ丸馬助長房。丸

馬助光房。丹波隆房。安藝兵庫善九郎ト下連綿ト

記シタレド。事蹟年代等スベテ詳トラス。タテ

九郎ハ。天正十八年流浪セシ由見ユレド。何レシ
仕ヘシコトハ載セズ。ソレヨリ後ハスベテ傳ヲ
失ヘリ。又祖先ノ持シモノトテ。鎗一筋ヲ藏ム。

大^{オホ}芦^{アシ}村

大芦村ハ。江戸ヨリ行程十四里半。今庄名ハ唱一ガ
レド。古キ水帳ニハ箕田庄或ハ箕田村之内トアリ。
村ノ廣サ。東西十二丁餘南北十五丁。東ハ明用村。南
ハ荒川ヲ限り。對岸横見郡上砂村。大里郡小八林。玉
作ノ三村ニ界ヒ。西ヒ大里郡久下村ニテ。北ハ榎戸。
吹上ノ二村ナリ。民戸百六十五。當村正保ノ頃ハ市
岡丸太夫。井上次兵衛二人ノ知ル所ニテ。元禄ノ初
メハ御料及市岡對馬守。甲斐庄三郎右衛門ノ知行

ナリシヲ。同キ十一年阿部豊後守ニ賜ハリ。今子孫
鏡丸が領分ナリ。檢地ハ慶長十二年大河内金兵衛
糾セシ後。貞享元年近山與丸衛門。熊澤武兵衛改ム
ト云。

高札場 村ノ中央ヨリ。少シク北ヨリニアリ。

小名

中内手 ナカウチテ

砂原 スナハラ

新在家 ニイイテ

荒川 村ノ西南ヲ流ル。川幅三十間。此川ニ渡津アリ。大芦ノ渡ト唱フ。コレ多磨郡八王子ヨリ日光
一ノ往還ナリ。

氷川社 醫王寺持。

稻荷社

大天ダイテン八公ハツウ社 祭神ヲ詳ニセズ。村民持。下七社モ同

ジ。境内ニ

東照宮ノ御宮アリ。是ハ古ヘ城邊ヘワタラセウ
レシ時。御腰ヲ掛サセ玉ヒシ御跡ナレバ。土人
等造立ニ奉ルトイヘリ。

稻荷社

太神宮ニ宇

道祖神社

雷電社三字

浅間社

稻荷社二字 共ニ醫王寺持。

諏訪社 龍光寺持。

龍光寺 禪宗曹洞派。箕田村寶持寺ノ末。大淵山ト

号ス。本尊地藏ヲ安セリ。

天神社 白山社 衆寮

醫王寺 新義真言宗。箕田村龍珠院門徒。瑠璃山玉

藏院ト号ス。開山賢秀。寂年詳ナラズ。二世ノ僧秀

榮ハ貞享三年九月五日化ス。本尊藥師運慶ノ作

ト云。

彌陀堂

大寶院 當山派修驗。郡内小松原滝本院ノ配下ト

リ。本尊不動。春日ノ作ト云。

明用村

明用村ハ。村民鶴間氏ノモノ開墾セシ所ニテ。古ハ
鶴間村ト稱セシヲ。何ノ頃ヨリカ今ノ如ク改メシ
ト。又昔ハ三町免村モ當村ニコモリテ。一村トリシ
トイヘリ。其地ハ箕田郷ニ屬シ。江戸ヨリ行程十三
里餘。東西六丁南北八丁餘。東ハ三町免前砂ノ二村
ニ接シ。西南ノ二方ハ大芦村ニ隣リ。北ハ前砂村ト
リ。戸數三十餘。正保ノ頃ハ。御料所及ビ酒依喜石衛
門。戸川主水知行シ。慶安五年御代官南條金右衛門

檢地ス。其後元祿十一年阿部豊後守ニ賜ハリ。今
子孫鐵丸ガ領分ナリ。

高札場 村ノ中程ナリ。

小名

大地頭

西郷地

久下分

谷中

富士塚

半成

出口

三島社 古塚ノ上ニ鎮座ス。塚ノ高一丈餘ハナリ

六七間ニテ。横ニ長シ。社ニ向テ丸ノ方ニ長九尺

幅五尺餘ノ石片面アラハレテナリ。昔村民此石

ヲ掘出サントナセシカバ。忽チ榮リヲカフムリ

シトテ。其後ハ恐レテ手ヲフル、モノナシト云。

按ニ此塚ハ古代ノ墳墓ニシテ。頭レシ石ハ全ク

石榔ト見エタリ。オモフニ下野國那須郡國造冢

ノ類ニシテ。郡司ナドイフモノ、葬地ナルベシ。

又近郷箕田村ノ古塚モ是ト同シ形ナリ。

三島社地圖



末社 天王社

稻荷社

天満宮

第六天社 以上二社。観音寺持。

観音寺 三島山明星院ト號ス。新義真言宗箕田村

龍珠院末。本尊不動ヲ安ス。

聖天社 観音堂 千年観音ヲ置リ。

三町免村

三町免村ハ。モト明用村ノ地ニテ。小名三町免ト稱
シ。御入國ノ後酒依喜右衛門方知ル所ナリシカ。
元禄十一年明用村ヲ阿部豊後守ニ賜ハリシ時。分
村セリト云。サレド正保ノ改ニ。既ニ此村名アルバ。
分村セシハ正保前ノコトナルヲ。土人ノタマノ誤
リ傳ヘシナリ。村ノ四境。東ハ小谷村。南モ同ニ村
ニテ。荒川水除堤ヲ境トス。西ハ明用村。北ハ前砂明
用ノ二村ナリ。東西六丁餘南北五丁。郷名江戸行

程前村ニ異ナラズ。戸數三十五。慶長五年地頭酒依
喜右衛門檢地ニ。今ニ其子孫酒依清十郎知行ス。村
ノ巽ノ方堤外ニ僅ノ新田アリ。コ、ハ正徳五年檢
地スト云。

高札場 村ノ北ヨリニアリ。

小名

本田 ホンデン

新田 シンデン

道齊 ダウサイ

野中 ノナカ

ハンナリ

三嶋社 本覺院持

末社

稻荷社

天神社

愛深社

三峯社

山神社 村持

本覺院 新義真言宗。箕田村龍珠院門徒。西來山ト

号ス。正保五年酒依喜右衛門が開基ニテ。其祖先

ノ法諡ヲ以テ山号院号トセシト云。本尊大日ヲ

安ス。境内ニ彦坂壹岐守寛播磨守二人ヲ祀リシ

小社アリ。是ハ正徳年中傳馬等ノ役ヲ除カレシ

コトヲ願ヒシ時。彼二人奉行トシテ願ノマ、ニ

免許セシカバ。其恩ニ報ズル心ニテ土民等ノ祀

ル所ナリ。

天王天満宮稻荷合社
地藏堂村持。

糠田村

糠田村モ郷名且江戸へノ里敷前村ニ同ニ。戸數百
五十七。東ハ登戸中野ノ二村ニ隣リ。南ハ瀧馬室村
ニ。北ハ箕田宮前ノ二村ニ交リ。西ハ荒川ヲ隔テ
横見郡須戸野谷新田。且當郡小谷村ナリ。正保以前
ノ領主ハ前村ニ云ル如シ。其後元禄十一年上リテ
御料トナリシヨリ。今ニ然リ。檢地ハ寛永六年伊奈
半十郎紀セリ。其後開キニ新田ハ享保十二年八木
半三郎村上三五九衛門。寶曆十年万年七郎右衛門。

天明五年飯塚常之丞ノ改アリ。
高札場 中程ニアリ。

小名

朝日山

大道下

堤根

彌陀野

狐塚

ワタウチ

荒川 西南ノ方ヲ流ル。川幅五十間。

沼 西南ニアリ。長三丁餘幅半丁許。以沼中ニ字蚊

屋ガ洲ト唱フル所アリ。由来詳ナラズ。

氷川社 村民ノ持。文禄ノ頃マデ小社ナリシガ。寛

永年中村ノ鎮守トシテ造營ト云。

末社 稻荷社

天王社

八幡社

鹿鳴社

神明社

天神社

稻荷社ニ宇 以上共ニ村持。

放光寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。糠田山ト号

ス。中興僧朝遍。寛文四年五月廿日寂ス。本尊大日

ヲ安ス。外ニ芝立藤九郎盛長ノ像トテ一軀アリ。

木ノ坐身ニテイト古色ナリ。相傳フ。當村ハ昔盛

長ガ領地ナリシユヘ。其頃當寺ヲ創立シ。且自作

ノ像ヲ残シテ永ク祈願所ニ定メシト。此説亦
ツカナシ。ソレヲイカニト云ニ。武家評林諸家大
系圖等ニ盛長ヲ安達藤九郎ト載タリ。安達ハ陸
奥國ノ郡名ナレバ。是立トハ自ツカラ異ナレリ。
殊ニ盛長ノ子景盛モ。始ハ安達ヲ名乗リテ後年
秋田城双ト改号スレバ。奥羽ノ地ヲ領セシコト
論ナカルベシ。思フニ安達是立唱ヘノ同ジキヨ
リカ、ル附會ノ説ハ起リシナラン。

彌陀堂

觀音堂 正觀音ナリ。長二尺寸五分。佛師定朝

ノ作ト云。

殿ノ内出 村ノ中程ニアリ。藤九郎盛長ノ居跡ト
云傳フ。是モ放光寺ノ傳ヘニヨリテイヒオコシ
タル説ナルベシ。

寔善者河野權兵衛 代々當村ノ百姓ナリ。權兵衛
ハ篤實廉直ノモノニテ。多年農耕ニ勤ムテ奇特
ノハカウヒアリエユヘ。里民自カラ一和セリ。カ
、リケレバ其善行近郷ニ聞エタリトゾ。天明三
年飯塚伊兵衛ガ當村ノ御代官タリシ時。彼ガ善
行ヲ聞エ上テ。銀若干ヲ賜ヒ。且子孫マテ苗字ヲ

名乗へク。其身一代ハ帯カスへキ由イヒワクセ
シナリ。ツレヨリ猶モ勵ミタリシニ。明ル四年閏
東飢饉ナリシカバ。貧民ノ助カトシテ金二百兩
ヲ施コシ。同キ五年近郷水溢ノ時モ食物寺村内
へ出セシユへ。御代官ヨリ再ビ奇特ナル旨褒賞
シタリト云。今ノ權兵衛ハ彼ガ子ナルガ。父ニカ
トラス負實ノモノニテ。ヨク村民ト和順シテ農
業ニ勤メオコタラズトイヘリ。

宮前村

宮前村ハ。古ヨリ聖權現社アル地ナレバ此名ヲ得
タリト云。郷名ハ前村ニ異ナラズ。江戸へノ行程十
二里半。戸數五十六。東ハ鴻巣宿大間村ニ隣リ。南ハ
登戸糠田ノ二村ニ及ビ。西北ハ箕田村ニ交シリ。東
西ハ十九丁餘南北一丁半許。御入國ノ後ハ御料
ノ地ナルベシ。正保三年下山五郎助ガ米地ニ賜ヒ
テヨリ。今ニ子孫彌八郎知行セリ。檢地ノ年代ハ詳
ナラス。

高札場 西ノ方ニアリ。

小名

向ヒ山

寺山前

四ツ屋

聖タカ權現社 村ノ鎮守ナリ。天長年間紀州高野山ノ

僧。當タカ光德寺ヲ開基セシム。彼聖ヲ崇テカク

祀ルト云。光德寺持末社ニ辨天庚申ノ二社アリ。

神明社

愛宕社

第六天社 以上村持。

光德寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。聖山不動院

ト号ス。寺領五石ノ御朱印ヲ賜フ。開山僧源樂。

天長二年十月二日示寂。是前ニ云高野聖ナリ。本

尊不動長一尺五寸ノ立像ニテ。智證大師ノ作ナ

リ。又長五寸許ノ不動アリ。是モ同作ト云。

觀音堂 準提觀音ヲ安ス。

稻荷社 三峯社

永林寺 禪宗曹洞派。箕田村寶持寺末。宮前山ト号

ス。開山僧惠庵寛永十一年寂ス。本尊ハ釈迦ナリ。

天神社

一里塚 鴻巣境ニアリ。

中野村

中野村モ郷名且江戸一ノ里數前村ニ異ナラス。民
戸二十七軒。東ハ大間村。南ハ滝馬室村。西ハ糠田村。
北ハ登戸村ナリ。東西ノ徑四丁餘南北二丁半許。
御入國ノ後ハ御料所ニシテ。正保ノ頃ハ久保吉右
衛門方米地ニ賜ヒ。其後上リテ御料ニ復シ。元禄年
中日下部某ニ賜ハリテヨリ。今子孫金三郎ニ至レ
リ。檢地ハ慶安二年紀セリ。
高札場 中程ニアリ。

小名

上

下

對馬橋 糠田村境ノ小堀ニ架セル橋ナリ。昔

鴻巣邊 御放鷹ノ時。鴻巣宿ノ民勸右衛門カ先

祖深井對馬ガ掛ケ始メヨリ。此名ヲ得タリト

云。

堤 村ノ南西ニアリ。荒川ノ水溢ニ備フ。

通殿社 村ノ鎮守ナリ。村民ノ持。

寶性寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。天満山ト号

ス。本尊ハ不動ナリ。

天神社

地藏堂 村持。

舊家者郡次 金子ヲ氏トス。村ノ名主ナリ。相傳フ

金子十郎家忠ノ後胤。越前守某及ヒ其子中務丞。

岩槻太田氏ノ旗下ナリシカ。没落ノ後慶長年中

中務丞民間ニ下リ。當村ヲ新開スト云。サレド家

系記録等傳ヘサレバ詳ナラズ。太田氏ヨリ出ヒ

シ文書ニ通フ所持ス。其文凡ノ如シ。

改定牙利之率

一本 諸物口言以立之入横四持 是及

金銀之乃之故了也。

一本 德二乃之中柄金銀之有相南一非 案

一勝 馬上具是甲之物金銀何之也

一推也蓋。

望之人

右方之之者到内少之相改定

並名也一被披允毛以無相遠之致也。

大途出此 似有官從不之致相遠也。

火急用之。來廿日。王切。而書。來
馬の川。如件。

辛巳

七月八日



金子城前守

改定名刺之事

一 女
陸一乃。中柄金銀。乃相商。
て推持。子是。及。是金銀。乃
是紋。下者。

一 張
馬上具。是甲。立。持金銀。何
子。て推持。子。蓋。持。四方。等。

主人横是

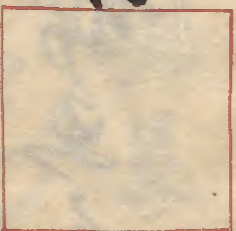
三

右方より若くは内より相改
定重なる也。致披久毛及至相遠
三波より大途出ら 他付方程

左波相遠い。此意の用意来
廿日と坊ら者来より一匹の如件

辛巳

七月八日



金子中勢出方人

來調候之事

一 年終金銀的進出帳目。在元雅出
年。

一 一 簿。白紙。諸式具出先王到
了。簿。抄也。

已上

一 一 簿。白紙。諸式具出先王到
了。簿。抄也。
一 一 簿。白紙。諸式具出先王到
了。簿。抄也。
一 一 簿。白紙。諸式具出先王到
了。簿。抄也。

あまのつとけのつとけのつとけ
又月又日とて限りて
この世事多し

日月又日

金子中務忠久

又中務が著せしト云鑑モ持傳ヘシカ。後年分家
ノモノハ分子與ヘシトテ。今ハ僅ニ袖及ビ子キ
レシ草摺ナド残レリ。鉄ト革ト一枚交リノ本コ
ザ子ニシテ。緘ハ深色ナノテ夕ニカニ見エワカ
子ド。緋糸ニモアラシカトオモハル。又佩刀一腰
アリ。鍔深クシテ鉄色ハ見エズ。全軀ノ作りハ丸
古色ナリ。鍔ハ鉄ニテ瓢ノ實葉ヲエリ透セリ。

登戸村

登戸村ハ。箕田郷箕田庄ニ属ス。江戸ノ行程前村ニ
同ジ。戸數二十六。東ハ大間村。南ハ中野村。西ハ糠田
村。北ハ宮前村ナリ。東西七丁許。南北四丁餘。古ハ忍
ノ成田ガ領地ナリ。御打入ノ後ハ御料所ニテ。正
保頃ノモノニハ。久保吉右衛門下山五郎助ガ知行
トアリ。其後何ノ頃カ久保ノ知行ハ上リテ今下山
弥八郎三上筑前守藤堂主馬三人ガ知ル所ナリ。檢
地ハ慶安二年久保吉右衛門紀セシト云。

高札場 村ノ中程ニアリ

小名

藤三郎

馬洗戸

菱喰橋

一本木

二本木前

マガノ

第六天社 村ノ鎮守ナリ。村持

熊野社 持同シ。

勝願寺 新義真言宗。箕田村龍珠院末。松岡山本誓

院ト号ス。相傳フ當寺ハ文永元年記主禪師ノ草

創ニシテ。始ハ淳土宗ナリ。故ニ白旗流ニ祖定慧

良譽ノ古墳當所ニアリ。然ルニ天正年中不残上

入寺ヲ鴻巣宿ニ移シテ。記主ノ住セシ居宅一宇

ノミ。其跡ニ残セシユヘ。村民福嶋氏ノ入コレヲ

預リテ諸宗ノ道心者替ルヘ住ケルニ。

台徳院殿當所ノ古跡タルコトヲキコシメシ及

ハセ玉ヒテ。寺領十石ヲ御寄附アリシヨリ。再ビ

堂舎ヲ造営シテ舊ニ復セリ。此時住居セシ僧圓

慶真言宗ナリシカバ。ソノマ、龍珠院ノ末ニ属

シテ今ノ宗門ニ改メシト云。圓慶ハ元和六年五

月五日寂セリ。本尊不動ヲ安置ス。

彌陀堂

稻荷社

辨天社

舊家者政右衛門 村ノ名主ナリ。道祖上ノ氏トス。
家系ヲ見ルニ。大職冠鎌足ノ後胤。道祖上ノ郎資
兼ヨリ十七世。圖書助康兼ガ子。圖書助康滿。後福
島與右衛門滿吉ト号シ。又滿兼ト改ム。此滿兼岩
槻太田氏ニ仕ヘシカ。天正十八年五月岩槻落城
ノ後。足立郡箕田郷登戸村ニ来住云々。元和八年
十一月八日登戸村ニ於テ病死。鴻巣勝願寺ニ葬
トアリ。サレバ是ヨリ農家トナリ。其子成兼。成兼
ガ男兼住ヨリ本姓ニ復シ。今ノ政右衛門ニ及ベ
リ。猶比企郡下ハ、林村農民郷助ノ系併見ルベシ。

先祖滿兼ガ所持トテ。古キ具足一領及ビ鎗一筋
信國ノ暇指等ヲ藏ス。中ニモ具足ハ朽損シテ古
色ナリ。

大間村

大間村ハ。郷名且江戸へノ里數前村ニ同ジ。民戸七
十三軒。東ハ鴻巣宿。南ハ滝馬室村。西ハ中野村。北ハ
登戸村ナリ。東西へ十五丁餘。南北七丁餘。用水ハ鴻
巣宿勝願寺山際ヨリ出ル清水ヲ引込ケリ。村民幸
作ト云モノノ記セシモノニ。往古ハ上杉家ノ領地
ナリシニ。天文以來小田原ノ領トナリ。天正以後ハ
忍領ニテ。慶長ノ頃ヨリ久保吉右衛門知行トアリ。
現ニ正保頃ノモノニハ。久保吉右衛門カ知行ト載

タリ。其後一旦御料所トナリ。元禄四年村内ヲ裂テ
西尾嘉右衛門ニ賜ヒ。残ル御料所ハ同キ十一年林
大學頭ニ賜ハリ。今其子孫西尾伊三郎林大學頭ガ
知ル所ナリ。檢地ハ慶安年中大河内与兵衛紀セリ
ト云。村内ニ穢多六軒アリ。
高札場ニケ所 南北ニ分テ立リ。

小名

薬師山

土中ニ薬師ノ像埋ミアル由云
傳ヘリ。ヨテ土人埋薬師ト呼ブ。眼ヲ患
フルモノ祈願スレバ驗アリト云。

宮地原

東大間

子キヤ

氷川社 村ノ鎮守ナリ。別當ヲ本習院ト云。本山派
修驗下谷村大行院ノ配下ナリ。

諏訪社

稻荷社

辨天社

共ニ本習院ノ持。

浅間社

村持。

八幡社

久保寺持。

久保寺

新義真言宗。箕田村龍珠院末。光明山自在
院ト号ス。開山僧圓祐寂年ヲ傳ヘズ。開基ハ久保

吉右衛門ト云。貞享元年六月廿三日卒ス。本尊不
動ヲ安ス。

天神社 近キ頃爰ニ遷セリ。舊地ハ天神社地ト
テ村内ニ残レリ。

阿弥陀堂

城

山村ノ西北ニアリ。東西北ノ三方泥田ニテ要
害ノ地ナリ。今モカウ堀ノ蹟残りタレバ。壘ナド
構ヘシ地ナルコト疑ヒナカレベシ。廣サハ四段
許アレド。昔ハ猶廣キ地ナリシモ知ルベカラズ。
相傳ヘテ扇谷ノ長臣箕田氏ノ城蹟ナリトモ。又

武藏守經基ノ墨蹟トモイヘト。モトヨリ證トス
ベキコトナレシ。今按ニ將門記等ニヨルニ。養平ハ
年武藏ノ經基。足立郡司判官代武藏武芝ト帝論
和儀ノコトニヨリテ。比企郡狹股山ニ會合ノ時、
武芝ノ後陣故ナクシテ經基ノ營所ヲ圍ム云云
ト載タレバ。若クハ彼營所ト云モノ當地ナリシ
モ知レカラス。コトニ箕田村ニモ經基ガ陣所ト
云所アレバ。トニカクコノ邊ニ經基ガ居住アリ
シコト論ナカルベシ。サレドコハイトアカリシ
代ノコトナレバ。其堀カマヘノ今ニ残ルヘキノ

ユヘトシ。又扇谷ノ長臣箕田氏ト云ハ。彈正綱秀
ガコトナルベケレド。彼ハ三田氏ニシテ。箕田ニ
アラス。思フニ箕田三田唱ヘノ同じキマ、ニ。後
世事ヲ好ムモノ、牽強シテイヒ起シタル説ナ
ルベシ。殊ニ彼綱秀ハ多磨郡青梅ニ住セシコト
ハ諸記録ニ見エタレバ。當所ニ城壘アルヘキノ
理ナキヲヤ。

新編武藏風土記卷之一百五十終

